

メタデータを利用したコンテンツ集約に基づく  
デジタルアーカイブのアクセス支援手法の開発  
An Access Support method for Digital Archives  
by Metadata-based Content-Aggregation

学籍番号：201521621

氏名：鈴木 清貴

Kiyotaka SUZUKI

近年、デジタル媒体で資料を保存・蓄積するデジタルアーカイビングが行われるようになった。デジタルアーカイブにおいて、利活用性の向上を目指すには、単にコンテンツへのアクセスが可能なことだけでなく、アクセスしやすい状態であることが望まれる。デジタルアーカイブ内には数多くの資料(コンテンツ)が存在しており、その中には類似するものも多い。デジタルアーカイブにおいて、ある目的でコンテンツを探索しようと考えた際に、類似するコンテンツが数多く横並びしてしまい、どのようなコンテンツがアーカイブ内に存在しているか概観することが難しく、コンテンツへのアクセスが非常に難しいのが現状である

そこで本研究では、デジタルアーカイブで利用されているコンテンツのメタデータを利用し、複数の類似・関連するコンテンツを集約し、ひとまとまりのコンテンツ(集約)として扱うことを考える。集約単位でコンテンツを提供することで、どのようなコンテンツがアーカイブ内に存在しているか概観しやすくなり、コンテンツへのアクセスを支援刷ることが出来る。

本稿では NDL 東日本大震災アーカイブと連携し、NDL-KN 形式でメタデータが記述されている郡山震災アーカイブについて、メタデータの収集と分析を行った。また、日時情報・地理情報・作成者情報について着目し、それぞれの情報を利用して集約の作成を行った。加えて、単独の情報だけではなく複数の情報を組み合わせることで、作成される集約の精度向上を目指した。

研究指導教員：杉本 重雄

副研究指導教員：永森 光晴